



問 少子化、指導者不足等により部活動の選択肢が制限されてきている。「幼少から続けている部がない、自分に合わない、ずっと

中学校の部活動について



澤本 長俊議員

答 中学校では、他の教育活動との関連で意義を位置づけ、方針を決めて取り組んでいきます。生徒数減少で設置部数を制限し、選択肢

答 教育次長 中学校では、他の教育活動との関連で意義を位置づけ、方針を決めて取り組んでいきます。生徒数減少で設置部数を制限し、選択肢

と続けている人に追い付けない」等が理由にある。部活動は、協調性・基礎体力・技術向上等、中学生にはなくてはならない活動である。市内の学校間で、交流や混成での活動ができないか。また、外部に指導者・管理者を置き、活動できる制度や応援体制はできないか問う。

答 消防長 合併前と変わりなく各支所等から電話、メール、サイレン吹鳴等で連絡することになっていきます。消火栓等は、点検することを考えます。中学生の消火訓練は教育現場と協議し、指導したいと考えています。

答 消防長 合併前と変わりなく各支所等から電話、メール、サイレン吹鳴等で連絡することになっていきます。消火栓等は、点検することを考えます。中学生の消火訓練は教育現場と協議し、指導したいと考えています。



問 湖北バイパス4工区及び高島バイパス安曇川区域が手付かずの状態であり、今後の着工見通しを伺う。

答 土木交通部長 交通安全係員は2名であり、各種の安全教室の交通指導にあたることは難しい現状ですが、県内先進市の実態を参考に当市の体制を検討していきます。

バイパス促進・交通安全対策チームについて



竹脇 一美議員

答 教育次長 学校では、部活動を通して全人的に健全な生徒の育成をめざし、原則全員部活動制をとっています。今後学校間の交流や合同などの活動を取り入れる等を検討したいと考えています。不登校については、教育相談事業を「子ども育成相談」と「学校教育相談」に整理し、関係機関と連携して支援を強化していきます。

答 土木交通部長 交通安全係員は2名であり、各種の安全教室の交通指導にあたることは難しい現状ですが、県内先進市の実態を参考に当市の体制を検討していきます。

していくのか伺う。市内小中学校の長期不登校は、74人となり年々増加する傾向にある。スクリーニングケアサポーターの派遣により対処できるのか伺う。



国道 161 号 バイパス